

「電力技術交流会」を開催しました

平成 29 年 11 月 2 日
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所（以下、鉄道総研）は、「電力技術交流会」を下記により開催いたしましたのでお知らせします。

鉄道総研は、去る平成 29 年 10 月 27 日に電力技術分野の研究開発成果、特に開発製品やサービスをご紹介する事を目的として「電力技術交流会」を開催し、鉄道事業者を中心に 40 社、107 名の方にご参加いただきました。講演会では、電力技術研究部長 池田 充による展望講演「電力技術の将来展望」のほか、近い将来の実用化を目指して現在取組中の研究から既に開発済みの成果まで 8 件をご紹介いたしました。講演会に続いて行われたミニセッションでは、各講演件名に関してパネルや模型などを用いてより具体的にご説明し、ご来場者との間で技術的な質疑や実用化に関する意見交換を行いました。また、技術交流会に先立ち、高・低圧大電流試験装置、集電試験装置など 5 設備を対象とした実験設備見学会も行いました。

記

1. 開催日時：平成 29 年 10 月 27 日（金）14 時 30 分から 17 時 55 分
2. 場 所：鉄道総研 国立研究所 講堂、インタラクションスクエア

3. プログラム

●講演会

- | | | |
|--|---|-------|
| 「開会の挨拶」 | 事業推進部長 | 舘山 勝 |
| (1) 「コンクリート柱の保全判定手法の提案」 | 電力技術研究部 電車線構造研究室 副主任研究員 | 常本 瑞樹 |
| (2) 「リアルタイム離線集計装置の開発」 | 電力技術研究部 集電管理研究室 副主任研究員 | 松村 周 |
| (3) 「剛体電車線の切削による波状摩耗対策」 | 電力技術研究部 電車線構造研究室 研究員 | 佐藤 修平 |
| (4) 「集電系ハイブリッドシミュレーションシステムによるパンタグラフの性能評価法」 | 鉄道力学研究部 集電力学研究室 主任研究員 | 山下 義隆 |
| (5) 「超電導フライホイール蓄電の特徴と鉄道への応用展開」 | 浮上式鉄道技術研究部 低温システム研究室 副主任研究員 | 宮崎 佳樹 |
| (6) 「超電導き電ケーブルの開発状況」 | 研究開発推進部 担当部長 兼
材料技術研究部 超電導応用研究室 研究室長 | 富田 優 |
| (7) 「直流エアセクションにおけるトロリ線断線リスク評価」 | 電力技術研究部 き電研究室 研究員 | 伊東 和彦 |
| (8) 「電力技術の将来展望」 | 電力技術研究部長 | 池田 充 |

●ミニセッション

- (1) 超電導き電ケーブルの開発状況
- (2) 超電導フライホイール蓄電の特徴と鉄道への応用展開
- (3) コンクリート柱の保全判定手法の提案
- (4) 電化柱の減衰定数に応じた応答加速度の補正手法
- (5) 剛体電車線の切削による波状摩耗対策
- (6) 集電系ハイブリッドシミュレーションシステムによるパンタグラフの性能評価法
- (7) 直流エアセクションにおけるトロリ線断線リスク評価



講演会



ミニセッション